

集会所の建設は

30年度完成を目指す



菊地光明議員
(新生会)

問 高台造成工事が完了すると住宅建築が始まる。それに伴いコミュニティ対策の中核施設になる集会所が必要だと思いが、各団地の集会所建設計画と完成年度を示せ。特に浦の浜から早川地区の高台、船越地区、織笠地区、大沢小学校脇、浜川目地区について。

佐藤町長 新しい住宅団地への集会所の整備については、被災施設の復旧を基本としつつ、居住の戸数と従来施設とのバランス、整備に係る財源および維持管理に係る将来の財源負担などを総合的に勘案しながら進めていく。

浦の浜から旧早川地区の防集団地は船越第5団

地内、織笠地区は新織笠駅付近、浜川目地区は浜川目団地内に30年度までに完成させたい。

問 同様な集会所である豊間根生活改善センターとふるさとセンターは津波難場所としては最良だが、台風の場合の避難所としては、横風と雨のため、あまりよくないと言

われている。両施設とも築50年前後で老朽化が進んでいるが、今後の整備計画に入れているか。

上林企画財政課長 整備計画の基本は被災した施設の再建であるが、豊間根、大沢の両施設とも今後の整備の課題であると認識している。



建設中の前須賀・タブの木荘線

前須賀・タブの木荘線は

30年度完成予定

問 各事業については、国および県と連携を取りながら実施していると思う。そこで、町道前須賀・タブの木荘線の進捗状況と完成年度を示せ。

町長 現在、県施工の防潮工事に合わせて既存町道の付け替え工事、地盤改良工事が進められており、30年度の完成を予定している。

6次産業化の支援は

積極的な支援を実施

問 6次産業化を目指して取り組んでいる白石地区、豊間根地区や加工業者の皆さんへの支援策は。今後は販路拡大が重要と思うが、対応は。

町長 6次産業化は重要な課題と認識しており、自主的な活動に対し積極的な支援をする。販路拡大の意欲のある団体などについては個別の相談に応じていく。

問 町内で活動している4団体と今後の将来的な希望などを話し合ったことはあるか。

古館農林課長 必要性を認識しているので今後話し合っていく。